

## 3 活動やイベントを見学する

### POINT 1 メールで問い合わせをするとき、どう書きますか。



**POINT 1** のねらいは、活動への見学や参加を効果的に行うことができるように、その前段階として問い合わせメールを書くことです。第2課で学んだメールの書き方を活かすことができ、第2課の復習の意味も兼ねています。

まず学生に、メールに書く項目、順番について考えさせます。一通り出尽くしたところで、クラス全体に必要な項目、適切な順番について確認します。学習者の意見が分かる場合は、意見交換に発展させたり、必要に応じて第2課の pp. 30～34 に戻って確認してもよいでしょう。

#### **練習1** 見学について問い合わせるメールを書きましょう。

- 付属 CD-ROM 収録の『れんしゅうシート』を使います。シートの様式に沿って、弓道部のポスターを参照して、問い合わせメールを書かせます。
- 書いたメールをクラスメート同士で比べて見たり、確認したりしてもよいでしょう。

### POINT 2 見学場所に着いたら、どうしますか。



**POINT 2** のねらいは、最初の切り出し方を練習しておくことで、その後、スムーズに話を通してもらい、すぐに見学に移行できるようにすることです。前もって見学場所に着いたときのことを準備しておくことで、初めて会う人たちに話しかける緊張感も和らげることができます。

#### **1** 次のとき、どう話しますか。

- ①自分から話しかけるとき
- ②部員に話しかけられたとき

- 先に話しかけられて用件を聞かれたときと、自分から誰に話しかけるかを考えるところからしなければならぬときとの、状況の違いを考えさせ、その違いから生じるやり取りの進め方の違いに応じることができるようにします。
- ①の自分から話しかけるときは、まず、何を伝えることが大事かについて、話しあいます。これは、次の **2** の活動につながりますが、**2** の選択肢を提示してしまう前に、この **1** でまず学習者に考えさせます。
- ②のように部員に話しかけられたときは、聞かれたことに答えるのが普通ですが、それだけで十分か、自分から言っておいたほうがいいのか、①と関連させて考えさせます。

- 実際にこのような場面に直面した留学生から、最初にどのように切り出したらよいか、案外難しくてうまくいかなかったとの声があったため、練習するポイントとして取り上げました。

### <コツ>

一般的に活動の見学は、前もって問い合わせたり、申し込んで許可を得てから行くことが、必要であることを再確認します。

#### ② これから見学をします。先に伝えたいほうがいいことはどれですか。話しあってみましょう。

- スムーズに取り次いでもらうためには、何を伝えることが必要かについて、学習者に考えさせます。
- ① (p. 50) の流れから続けて扱ってもいいでしょう。① で学生から挙げられた項目の再確認として扱うこともできます。
- ③の自分の名前や出身、⑦のメールですでに問い合わせ済みであることなどは必須でしょう。③の出身に加えて、⑤の留学生であることも伝えておいたほうがよいと考えられるでしょう。あまりに多くの情報を一度に伝えても、効果的ではないことについても考えさせるとよいでしょう。

#### ③ ② で選んだ項目をどんな順番で言うといいと思いますか。あなたのことについて言ってみましょう。

- スムーズに取り次いでもらうという目的のためには、「何を」伝えるかに加え、「どのように」伝えるかということが重要であることについても、学習者に考えさせます。
- 伝え方についても、伝える内容と同じくらい重要な要素であることを認識し、実際にクラス内で練習します。実際の自分自身のことについて言うといいでしょう。
- ③の「自分の名前」、⑦の「メールですでに問い合わせ済みであること」の順で、とりあえず最初に伝えるといいでしょう。留学生なので日本語力を少し考慮してほしい等の意向があるとき等は、⑤の留学生であることも伝えるといいでしょう。個人差があるかもしれませんが、「何を最初に伝えると効果的か」という視点から、学習者同士で討論してもいいです。

### POINT 3 気になることについて質問をしたいとき、どう聞きますか。



POINT 3 でのねらいは、自分が気になっている情報を確実に聞き出すことができるように、効果的な聞き方について考え、練習することです。

#### ① 新しい活動を始めるとき、あなたはどんなことが気になりますか。

まず、この ① で、聞きたいことの内容を考えさせます。例示されていること以外にも、どのようなことが気になるかについてクラスで話しあうといいでしょう。

#### ② 質問をしたいとき、どう始めますか。

質問の最初の切り出し方を練習することによって、スムーズに自分の聞きたい質問へと運んでいくことができるようになります。切り出しの表現は、例のほか、「質問があるんですが」「ちょっといいですか」など、

いろいろと考えられます。

**3** 気になることについて、どう質問をしますか。

- 気になっていることについて質問する方法を練習します。ここでは、気になることを伝えたあとで、それが問題ないかどうか、できるかどうか確認する形式を紹介しています。
- 気になることを伝える表現、確認する表現は複数あります。1種類だけでなく、できればいろいろと使えるように練習するといいいでしょう。

**練習2** **1** の気になること (①~⑤) について、質問をしてみましょう。

- 解答例) ②日本語があまり上手ではないんですが、大丈夫ですか。  
③アルバイトがあるので、時々練習を休んでも、問題ないでしょうか。  
④道具を持っていないんですが……。

**4** 聞いた答えをどう確認しますか。

- 聞いた答えを上手に確認することができるように練習することがねらいです。
- 外国語使用者という立場にあると、聞いた答えに確信が持てない場合であっても、確認するということを経済的に済ませてしまっていることも多いようです。ここでは上手な確認のしかたに意識を向け、練習することにより、少しでも誤解などを防ぐスキルを身につけるようにします。

- 部長の答えの解答例) b. [⇒ ③]  
c. [⇒ ④]  
d. [⇒ ①]

**練習3** **4** の a ~ d の部長の答えを確認しましょう。

- 解答例) b. 病気のと看以外、練習を休んではいけないんですね。  
c. 弓や矢は、(留学生は買わなくてもいいんですね。) 借りられるんですね。  
d. 先輩が教えてくれるんですか。じゃあ、やったことがなくても大丈夫ですね。

**練習4** 気になることを質問する練習をしましょう。

- 質問の内容を具体的に想定し、質問する練習をします。カードは、自分の興味のある部活を見学するとき、どのようなことが気になるかを考えながら学習者に作らせるようにします。手順はp. 55に従い、[会話例]を参考に、ペアで、見学者役は質問をし、答えを確認する、部長役は質問に答えるという一連の流れで練習します。特定の表現だけを使うことにこだわらず、会話が広がるようにします。

①それぞれの部活について個別に考えられる質問は、**POINT 3** で出しているもの以外に以下のような例があります。

- a. 今住んでいる寮で、楽器の練習をすることができない。
- b. 寒い国から来たので、日本の夏に外での練習に耐えられるかわからない。
- c. 長い時間、正座していることができるか、自信がない。  
着物は持っていない。
- d. 高いカメラを持っていない。

## POINT 4 部活に入るか入らないかをどう伝えますか。



**POINT 4** のねらいは、決断の内容によって伝え方を変えたほうがよいことを意識させ、意図がはっきりと伝わり、かつ相手を配慮した伝え方を身につけることです。

### ① いつ、伝えるのがいいですか。

- いつ伝えるのがよいかという点について、まず学習者に考えさせます。部活に入るか入らないかという答えによって変わることを意識させます。
- 相手の立場だったらどうかという視点から、考えてみるとよいでしょう。つまり、部活の部員の立場だったら、どのような返事をもらいたいと考えてみます。「入ってもらいたい」こと、「返事は早くもらいたい」こと、「入るか入らないか、わからないのは困る」ことなどについて考えてみます。①は a、b、c が選ばれることが多いでしょう。②の場合はとりあえず ② の「保留する」表現を使って b や c などのように早めに保留の意志のみ伝え、その後、遅くとも d の数日後くらいまでには最終決断を伝えるとよいと考えられます。e は待たされる立場を考えるとどうかについて考えてみるとよいでしょう。③、④については、a、b では適当か、学習者に考えさせるとよいでしょう。

### ② すぐに決められないとき、どう言いますか。

決められない場合には曖昧にしたり放置したりするのではなく、返事を保留したり、いつごろ返事をするのか等を伝えるような言語行動が必要です。

### ③ 部活に入らないことを伝えるとき、どうしますか。

- 「入る」ことを決めた場合よりも、決められなかったり、「入らない」ことにしたときのほうが、相手に不快感を与えずにうまく伝えることが必要になってきます。「入らない」ことにしたときは、差し支えない範囲で理由を伝え、見学の機会を設けてくれた相手への配慮や謝意を表すようにします。また、少し柔らかい言い方をするようにします。

### <コツ>

- 見学の場で「入らない」ことが伝えにくい場合は、② のようにいったん保留をし、あとで ③ の構成に従って断るようになってもいいでしょう。

**4** 見学を終えて帰るとき、どう挨拶をしますか。

- 見学の機会を与えてくれた相手への配慮と謝意を込めた挨拶ができるようにします。
- **3** (p. 57 <コツ>)と同じく、よかったことを添えると、より感謝の気持ちを伝えることができます。

**練習5** クラスメートとペアになって、帰るときの挨拶の練習をしましょう。

- 特に最後の会話の切り上げ方は、簡単には思いつかず、練習なしでは学習者にとって難しいと予想されます。練習しておくことによって、終わりをきちんとまとめて引き上げることができるようにします。
- a～dの各場合では、帰り際の挨拶も少し異なってきます。断る場合や保留する場合でも、見学してよかったことや、いつ返事を出すのかなど、相手を配慮した返事をする必要があるようになってくることを意識させるとよいでしょう。